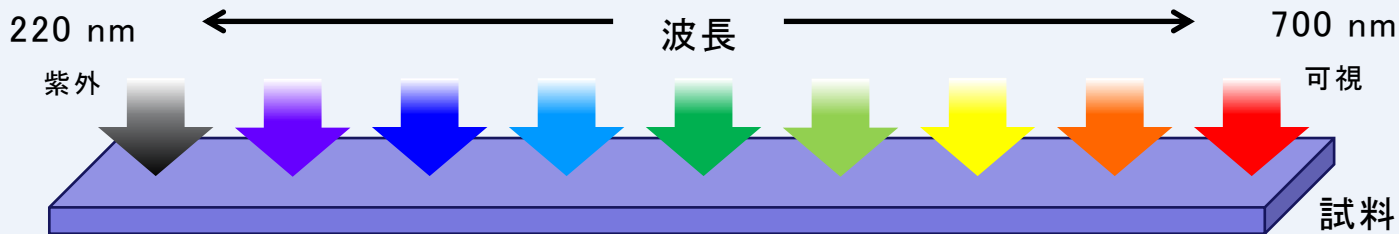


分光老化試験

分光分布が太陽光に近似したキセノンランプを光源とし、回折格子を用いて波長別に分光します。紫外から可視の強力な光を試料に照射し、試料の劣化に關与する波長の光を特定することが可能です。

ゴム・プラスチックなどの固体試料だけでなく、粉体や液体についても評価することができます。



試験機名称		スガ試験機(株)製 分光老化試験機 SPX
条件	照射面積	160 mm × 17 mm
	照射波長範囲	220 nm ~ 520 nm、400 nm ~ 700 nm (切替式)
	最大分解能	約2 nm/mm (スリット幅1 mmにおいて)
	スリット幅	1 mm ~ 10 mm

評価例

ポリスチレン

220 320 420 520 (nm)

紫外 可視

光照射

270 nm ~ 320 nm で黄変

着色した水

220 320 420 520 (nm)

紫外 可視

光照射

220 nm ~ 320 nm
370 nm ~ 490 nm で退色